

1. 議 事 日 程（4日目）

（平成30年那智勝浦町議会第1回定例会）

平成30年3月14日

9時29分 開 議

於 議 場

日程第1 議案第15号 平成30年度那智勝浦町水道事業会計予算…………… 210

日程第2 議案第16号 平成30年度那智勝浦町立温泉病院事業会計予算…………… 216

2. 出席議員は次のとおりである。（12名）

1番 荒尾典男	2番 左近誠
3番 下崎弘通	4番 中岩和子
5番 石橋徹央	6番 金嶋弘幸
7番 曾根和仁	8番 引地稔治
9番 亀井二三男	10番 津本・光
11番 森本隆夫	12番 東信介

3. 地方自治法第121条第1項により説明のため出席した者の職氏名（13名）

副町長 矢熊義人	教育長 岡田秀洋
消防長 阪本幸男	教育次長 寺本尚史
会計管理者 榎本直子	病院事務長 下康之
税務課長 三隅祐治	住民課長 田中逸雄
福祉課長 塩崎圭祐	観光産業課長 在仲靖二
建設課長 楠本定	水道課長 村上茂
総務課副課長 仲紀彦	

4. 職務のため議場に参加した事務局職員の職氏名（3名）

事務局長 網野宏行
事務局主査 青木徳之
事務局主査 足田晋一

~~~~~ ○ ~~~~~

9時29分 開議

〔4番中岩和子議長席に着く〕

○議長（中岩和子君） おはようございます。

ただいまから再開します。

本日の会議を開きます。

本日の日程は、お手元に配付のとおりでございます。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第1 議案第15号 平成30年度那智勝浦町水道事業会計予算

○議長（中岩和子君） 日程第1、議案第15号平成30年度那智勝浦町水道事業会計予算を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

水道課長村上君。

○水道課長（村上 茂君） 平成30年度那智勝浦町水道事業会計予算について御説明させていただきます。

1ページをお願いします。

議案第15号平成30年度那智勝浦町水道事業会計予算。

第1条、平成30年度那智勝浦町水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

第2条、業務の予定量でございます。(1)給水戸数は8,871戸で、昨年度より2戸の減となっております。(2)年間総給水量は226万7,910立方メートル、前年度に比べまして5万7,910立方メートルの増でございます。(3)1日平均給水量は6,213立方メートルで、前年度に比べまして159立方メートルの増でございます。(4)建設改良事業といたしまして、配水管布設替工事及び取水施設災害復旧工事を予定しております。

第3条、収益的収入及び支出の予定額でございます。

収入でございます。

第1款水道事業収益は4億7,783万円、内訳といたしまして、第1項営業収益4億2,806万6,000円、第2項営業外収益4,976万4,000円を予定しております。

支出でございます。

第1款水道事業費用は5億3,978万9,000円、内訳といたしまして、第1項営業費用4億7,959万5,000円、第2項営業外費用5,939万4,000円でございます。第3項特別損失30万円、第4項予備費50万円を予定しております。

本年度も、収益的収支の予算額はマイナス予算編成となっております。これは簡易水道統合整備事業の完成による減価償却費の増及び企業債利子の増が大きな要因となっております。なお、減価償却費におきましては、現金収支への影響は少ないと考えておりますが、水道課といたしましては、今後の施設の整備、改修等を踏まえ、料金改定について慎重に協議を進めていきたいと考えております。

2ページをお願いします。

第4条、資本的収入及び支出の予定額でございます。

収入でございます。

第1款資本的収入1億9,600万円、内訳といたしまして、第1項企業債1億9,400万円、第2項負担金200万円。

支出でございます。

第1款資本的支出3億4,785万5,000円、内訳といたしまして、第1項建設改良費1億9,888万2,000円、第2項企業債償還金1億4,897万3,000円を予定しております。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額1億5,185万5,000円は、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,457万7,000円、過年度分損益勘定留保資金1億3,727万8,000円で補填するものでございます。

第5条は企業債の借り入れ目的及び限度額を定めるものでございます。配水施設整備事業及び災害復旧事業で1億9,400万円と定めるものでございます。

3ページをお願いします。

第6条は、一時借入金の限度額を2億5,000万円と定めるものでございます。

第7条は、経費の流用範囲を定めるものでございます。

第8条は、経費の流用禁止事項を定めるものでございます。

第9条は、たな卸資産の購入限度額を365万9,000円と定めるものでございます。

4ページをお願いします。

予算に関する説明書、予算実施計画書でございます。

収益的収入及び支出。

収入でございます。

款1水道事業収益、予定額は4億7,783万円、前年度に比べまして602万9,000円の増でございます。

内訳といたしまして、第1項営業収益の目1給水収益から目2その他の営業収益まで、予定額4億2,806万6,000円、前年度と比べまして754万8,000円の増でございます。

項2営業外収益の目1分担金から目4雑収益までの予定額4,976万4,000円は、前年度に比べまして151万9,000円の減でございます。

5ページをお願いします。

支出でございます。

款1水道事業費用、予定額5億3,978万9,000円は、前年度と比べまして1,835万4,000円の減でございます。

内訳といたしまして、項1営業費用、目1原水及び浄水費から目6その他営業費用までの予定額は4億7,959万5,000円で、前年度に比べまして628万5,000円の減でございます。

項2営業外費用、目1支払利息及び企業債取扱諸費から目3雑支出までの予定額は5,939万4,000円で、前年度に比べまして1,206万9,000円の減でございます。

項3特別損失、目1過年度損益修正損は30万円を予定しております。

項4予備費につきましては50万円を予定しております。

6ページをお願いします。

資本的収入及び支出。

収入でございます。

款1資本的収入、予定額1億9,600万円は、前年度に比べまして1億1,477万円の減となっております。

内訳といたしまして、項1企業債1億9,400万円、項2負担金200万円を予定しております。

7ページをお願いします。

支出でございます。

款1資本的支出、予定額は3億4,785万5,000円で、前年度に比べまして8,971万円の減となっております。

項1建設改良費につきましては、目1固定資産購入費から目3災害復旧費まで、予定額1億9,888万2,000円で、前年度に比べ1億3,050万円の減でございます。

項2企業債償還金は1億4,897万3,000円で、前年度に比べまして4,079万円の増でございます。

8ページをお願いします。

給与費明細書でございます。8ページから13ページまで、記載のとおりでございます。説明は省略させていただきます。

14、15ページをお願いします。

平成29年度の予定損益計算書でございます。税抜きでございます。

15ページの下から3段目の当年度純損失は8,288万2,000円、前年度繰越利益剰余金が1億3,138万7,000円で、当年度未処分利益剰余金は4,850万5,000円となります。

16、17ページをお願いします。

29年度の予定貸借対照表でございます。税抜きとなっております。

資産の部の固定資産合計63億486万2,000円と流動資産合計8億2,862万3,000円を合わせた資産合計は71億3,348万5,000円となります。

負債の部の固定負債合計32億9,451万8,000円、流動負債合計3億8,788万1,000円、繰延収益合計10億4,523万5,000円で、それらを合わせました負債合計が47億2,763万4,000円となります。

資本の部の資本金合計が21億5,675万6,000円で、剰余金合計が2億4,909万5,000円でありますので、資本合計として24億585万1,000円となり、負債合計と資本合計を合わせた負債資本合計が71億3,348万5,000円となり、16ページの資産合計と同額となるものでございます。

18、19ページをお願いします。

注記表（前年度分）でございます。注記表とは、財務諸表を作成するに当たり採用した会計処理の基準を開示するために記載するものであります。記載のとおりでございますので、説明

は省略させていただきます。

20ページをお願いします。

平成30年度予定貸借対照表でございます。税抜きで記載しております。

資産の部でございます。

1 固定資産につきましては、(1)有形固定資産のイ土地からト建設仮勘定までの有形固定資産合計は62億3,159万4,000円、(2)無形固定資産合計は38万9,000円でございますので、これらを合わせました固定資産合計は62億3,198万3,000円でございます。

次に、2の流動資産でございますが、(1)現金預金が6億3,689万4,000円、(2)未収金が2億846万円、貸倒引当金が755万2,000円、これを差し引きますと2億90万8,000円となります。これに貯蔵品、前払金を合わせました流動資産合計は8億4,644万9,000円。

1 固定資産合計と2 流動資産合計を合わせました資産合計は70億7,843万2,000円となるものでございます。

次の21ページは負債の部、資本の部でございます。

負債の部。

3 固定負債の(1)企業債、イ建設改良費等の財源に充てるための企業債33億8,033万6,000円で、固定負債合計におきましても33億8,033万6,000円となっております。

4 流動負債でございますが、(1)企業債、イ建設改良費等の財源に充てるための企業債1億818万3,000円、(2)未払金2億3,612万1,000円、(3)引当金といたしまして、イ賞与引当金582万円、ロ修繕引当金1,200万円、(4)その他流動負債51万3,000円を合わせました流動負債合計が3億6,263万7,000円となっております。

5 繰延収益といたしまして、(1)長期前受金として13億486万4,000円、収益化累計額といたしましてマイナス2億9,845万3,000円、これを差し引いた繰延収益合計が10億641万1,000円となり、負債合計は3 固定負債合計、4 流動負債合計、5 繰延収益合計を合わせました47億4,938万4,000円となるものでございます。

次に、資本の部でございます。

6の資本金は、(1)の自己資本金が21億5,675万6,000円で、資本金合計は21億5,675万6,000でございます。

7の剰余金でございますが、(1)の資本剰余金合計2億58万9,000円、(2)の利益剰余金合計がマイナス2,829万7,000円、合わせまして6の資本金合計と7の剰余金合計を合わせました資本合計は23億2,904万8,000円でございます。これに負債合計47億4,938万4,000円を合わせまして、一番下の負債資本合計70億7,843万2,000円となり、20ページの資産合計と同額となるものでございます。

22ページをお願いします。

平成30年度那智勝浦町水道事業予定キャッシュ・フロー計算書でございます。

1 業務活動によるキャッシュ・フロー、2 投資活動によるキャッシュ・フロー、3 財務活動によるキャッシュ・フロー、4 資金増加額は53万3,000円で、5 資金期首残高を合わせました

6 資金期末残高 6 億 3,689 万 4,000 円は、20 ページの予定貸借対照表の 2 流動資産の (1) 現金預金と一致するものでございます。

23、24 ページをお願いします。

注記表でございます。記載のとおりでございますので、説明は省略させていただきます。

25 ページをお願いします。

実施計画明細書でございます。

収益的収入及び支出。

収入でございます。

款 1 水道事業収益、項 1 営業収益、目 1 給水収益、節区分 1 水道料金は 4 億 2,396 万 1,000 円で、前年度に比べ 752 万 8,000 円の増、節区分 2 量水器使用料は 409 万 5,000 円で、前年度に比べ 3 万円の減、2 その他の営業収益、節区分 1 手数料は、前年度と同額の 1 万円を予定しております。

項 2 営業外収益、目 1 分担金、節区分 1 加入分担金は 286 万 2,000 円で、前年度と比べ 88 万円の減でございます。

目 2 他会計補助金、節区分 1 一般会計補助金 615 万 2,000 円につきましては、宇久井辺地債の交付税措置分でございます。

目 3 長期前受金戻入は 4,067 万 5,000 円でございます。

目 4 雑収益は 7 万 5,000 円でございます。

26 ページをお願いします。

支出でございます。

主な項目について御説明させていただきます。

款 1 水道事業費用、項 1 営業費用、目 1 原水及び浄水費 1 億 444 万 7,000 円につきましては、前年度に比べまして 855 万 6,000 円の減でございます。節区分 1 給料、節区分 2 手当、節区分 3 賞与引当金繰入額、節区分 5 法定福利費、節区分 6 法定福利費引当金繰入額につきましては、職員 3 名分でございます。節区分 4 の賃金 1,359 万 2,000 円は、浄水場臨時職員 4 名分と維持管理作業員 2 名分でございます。節区分 12 委託料 1,406 万 3,000 円のうち浄水場警備委託 598 万 8,000 円につきましては、太田川浄水場警備保障委託料及び宇久井浄水場機械警備委託料でございます。膜モジュール薬品洗浄作業委託 540 万円につきましては、宇久井浄水場分でございます。その他につきましては、施設管理に要する委託料でございます。27 ページをお願いします。節区分 15 修繕費は 947 万 5,000 円でございます。昨年度に比べ 309 万 7,000 円の減でございます。節区分 16 動力費 3,213 万 9,000 円につきましては、前年度と比較しまして 676 万 1,000 円の減となっております。

目 2 配水及び給水費 5,398 万 1,000 円につきましては、前年度に比べまして 411 万 8,000 円の増でございます。節区分 1 給料から節区分 5 法定福利費引当金繰入額につきましては、職員 3 名分でございます。節区分 8 委託料 893 万円は、前年度と比べまして 202 万 9,000 円の減で、主なものといたしましては、説明欄 3 行目の水質検査委託 301 万 7,000 円、5 行目の漏水調査業務委

託341万1,000円となっております。28ページをお願いします。節区分10賃借料109万8,000円のうち71万3,000円につきましては、管路情報システムの借上料でございます。節区分11修繕費1,832万3,000円につきましては、説明欄記載の修理に要する費用をお願いするものでございます。

目3総係費6,408万円につきましては、前年度に比ばまして389万6,000円の増でございます。節区分1給料、節区分2手当、節区分3賞与引当金繰入額、節区分5法定福利費、節区分6法定福利費引当金繰入額につきましては、職員4名分でございます。節区分4賃金426万9,000円は、臨時職員2名分の賃金でございます。29ページをお願いします。節区分15委託料1,283万1,000円につきましては、前年度に比ばまして17万9,000円の減となっております。節区分17賃借料483万9,000円は、各システム等の借上料でございます。

30ページをお願いします。

目4減価償却費2億5,503万6,000円につきましては、昨年度に比ばまして574万3,000円の減となっております。

目5資産減耗費、目6その他営業費用につきましては、前年度と変わりありません。

31ページをお願いします。

款1水道事業費用、項2営業外費用、目1支払利息及び企業債取扱諸費5,029万7,000円は、前年度より456万6,000円の減となっております。企業債利息として、財務省32件、914万1,000円、地方公共団体金融機構50件、4,045万6,000円でございます。

目2消費税につきましては、本年度は4条、資本的支出の事業費の減少により、これに伴う仮払消費税も減少となり、その結果、仮受消費税から仮払消費税を引いた899万7,000円を予算計上させていただいております。

目3雑支出につきましては、前年度と同額でございます。

項3特別損失、目1過年度損益修正損30万円につきましても、前年度と同額でございます。

項4予備費50万円も、前年度と同額計上させていただいております。

32ページをお願いします。

資本的収入及び支出。

収入でございます。

款1資本的収入、項1企業債、目1企業債1億9,400万円は、前年度に比ばまして5,070万円の減で、配水施設整備事業及び災害復旧事業を予定しております。

項2負担金、目1他会計負担金200万円につきましては、消火栓設置工事に係る負担金でございます。

33ページをお願いします。

支出でございます。

款1資本的支出、項1建設改良費、目1固定資産購入費、節区分1備品購入費165万円は、量水器購入費用に係るものでございます。

目2配水施設整備費5,760万円につきましては、説明欄記載のとおり、市野々配水池詳細設

計業務委託と天満地内、朝日地内、下里天満及び市野々地内の配水管布設替工事でございます。

目3 災害復旧費 1億3,963万2,000円につきましては、市野々水系におきます導水、取水の施工管理業務委託及び工事を予定しております。

項2 企業債償還金、目1 企業債償還金 1億4,897万3,000円は、前年度に比べまして4,079万円の増で、簡易水道統合によるものでございます。

以上でございます。どうかよろしく申し上げます。

○議長（中岩和子君） 質疑を行います。

質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中岩和子君） 質疑を終結することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中岩和子君） 異議なしと認め、質疑を終結します。

討論を行います。

討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中岩和子君） 討論を終結することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中岩和子君） 異議なしと認め、討論を終結します。

採決を行います。

議案第15号について原案のとおり可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中岩和子君） 異議なしと認め、本件は原案のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第2 議案第16号 平成30年度那智勝浦町立温泉病院事業会計予算

○議長（中岩和子君） 日程第2、議案第16号平成30年度那智勝浦町立温泉病院事業会計予算を議題とします。

提案理由の説明を求めます。

病院事務長下君。

○病院事務長（下 康之君） 議案第16号について御説明申し上げます。

1 ページをお願いいたします。

議案第16号平成30年度那智勝浦町立温泉病院事業会計予算。

第1条、平成30年度那智勝浦町立温泉病院事業会計の予算は、次に定めるところによる。

第2条、業務の予定量は次のとおりとする。(1)病床数は120床で、一般病棟90床、障害者病棟30床となっております。(2)年間患者数は8万3,104人で、うち入院3万6,500人、外来4万6,604人。1日平均患者数は291人、うち入院100人、外来191人を予定しております。また、主



な建設改良事業といたしまして、施設維持補修工事及び医療機器整備を予定しております。

第3条、収益的収入及び支出の予定額は、次のとおり定める。

収入です。

第1款病院事業収益22億4,396万1,000円、第1項医業収益18億9,978万円、第2項医業外収益3億1,232万6,000円、第3項特別利益3,185万5,000円を予定しております。

2ページをお願いいたします。

支出につきましては、第1款病院事業費用25億5,841万3,000円、第1項医業費用21億2,786万1,000円、第2項医業外費用8,491万4,000円、第3項特別損失3億4,563万8,000円を予定しております。

次に、第4条でございますが、資本的収入及び支出の予定額を定めるものでございます。

収入です。

第1款資本的収入6,657万2,000円、第1項企業債3,000万円、第2項負担金3,657万2,000円。

支出でございますが、第1款資本的支出9,228万5,000円、第1項建設改良費6,789万7,000円、第2項企業債償還金2,158万8,000円、第3項看護師等貸付金280万円を計上しております。

資本的収入が資本的支出に対して不足する額2,571万3,000円は、過年度分損益勘定留保資金及び当年度分消費税資本的収支調整額で補填させていただきます。

第5条は、起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還方法を定めるものです。

第6条は、一時借入金の限度額を2億円と定めるものです。

3ページをお願いいたします。

第7条は、経費の流用範囲を定めるものです。

第8条は、経費の流用禁止事項を定めるものです。

第9条は、たな卸資産の購入限度額を1億8,421万8,000円と定めるもので、材料費の中の薬品費の額となっています。

第10条は、重要な資産の取得となっております。

4ページお願いいたします。

4ページから7ページまでは実施計画です。これを詳しく掲載したものが29ページから39ページの実施計画明細書でございます。後ほど詳しく説明させていただきます。

8ページをお願いします。

8ページから13ページまでは給与費の明細となっています。職員につきましては、特別職1名、一般職129名の予定となっております。

以下、それぞれ記載のとおりでありますので、説明を省略させていただきます。

14ページをお願いします。

平成29年度予定損益計算書です。

次の15ページの下から3行目を見ていただきますと、当年度の純損失1億3,371万5,000円を

見込むものです。前年度繰越欠損金が5億325万7,000円ですので、29年度未処理欠損金は6億3,697万2,000円を見込むものでございます。

16ページをお願いいたします。

16ページから19ページまでは、平成29年度末の予定貸借対照表で、税抜きで記載しております。

まず、資産の部ですが、1 固定資産、(1)有形固定資産はイの土地からトの建設仮勘定までで53億1,438万1,000円、(2)無形固定資産168万2,000円となる予定でございます。17ページをお願いいたします。有形固定資産、無形固定資産に、(3)投資の投資合計2億5,982万9,000円を合わせました固定資産合計が右側の55億7,589万2,000円の予定でございます。2 流動資産につきましては、(1)現金預金が1億7,719万7,000円、(2)未収金が2億3,725万4,000円、この大部分は国民健康保険団体連合会や社会保険診療報酬支払基金などへ請求する診療収入です。(3)貯蔵品、(4)前払金を合わせまして、流動資産計4億3,291万9,000円、資産合計といたしまして60億881万1,000円となる予定でございます。

18ページをお願いいたします。

負債の部ですが、3 固定負債の計といたしまして29億2,388万4,000円、4 流動負債の計といたしまして2億5,401万3,000円、うち(3)未払金1億5,546万9,000円を予定しております。5 繰延収益の合計額が27億768万3,000円、負債合計といたしまして58億8,558万円となる予定でございます。

19ページをお願いいたします。

次の資本の部ですが、6 資本金、(1)自己資本金の計、資本金合計が6億2,351万2,000円、7 剰余金ですが、(1)資本剰余金と(2)利益剰余金を合わせまして、剰余金合計が△の5億28万1,000円となる予定でございます。資本合計は1億2,323万1,000円で、18ページの負債合計の58億8,558万円と合わせまして、負債資本合計が60億881万1,000円となる予定でございます。これは17ページの資産合計と合致するものでございます。

20、21ページをお願いいたします。

20、21ページは平成29年度の注記表となっております。有形固定資産の減価償却の方法や引当金の計上方法等を記載しております。

22ページをお願いいたします。

22ページから25ページまでは平成30年度の予定貸借対照表です。

22、23ページは資産の部、24、25ページは負債、資本の部となっております。

22、23ページ、資産の部、1 固定資産、(1)有形固定資産のイ土地からへのリース資産までの有形固定資産合計は49億6,059万5,000円、(2)無形固定資産合計は168万2,000円、(3)投資合計は2億582万9,000円で、固定資産合計が51億6,810万6,000円となる予定でございます。2 流動資産は、(1)現金預金が1億8,939万7,000円、(2)未収金につきましては2億4,598万円となっており、下段の貸倒引当金1,302万9,000円を差し引いた2億3,295万1,000円を計上しております。国民健康保険団体連合会や社会保険診療報酬支払基金へ請求し2カ月おくれで入ってく

るものです。(3)貯蔵品、(4)前払金を合わせまして、流動資産合計4億3,889万3,000円、資産合計56億699万9,000円となっております。

24ページをお願いいたします。

負債の部、3固定負債についてですが、(1)企業債22億5,717万8,000円、(2)リース債務66万3,000円、(3)引当金、イ退職給付引当金6億9,118万4,000円の固定負債合計は29億4,902万5,000円を計上しております。4流動負債につきましては、(1)企業債から(6)その他流動負債までの合計額が1億6,739万3,000円を予定しております。5繰延収益の長期前受金30億1,914万3,000円から収益化累計額3億3,176万4,000円を差し引いた26億8,737万9,000円を計上しております、3固定負債から5繰延収益までの負債合計は58億379万7,000円となるものでございます。

25ページをお願いいたします。

次の資本の部ですが、6資本金合計、(1)自己資本金計が6億2,351万2,000円、7剰余金につきましては、(1)資本剰余金と(2)利益剰余金の合計額が△8億2,031万円となる予定でございます。資本合計は△1億9,679万8,000円で、これに先ほどの負債合計を合わせまして、負債資本合計は56億699万9,000円となり、23ページの資産合計と合致するものでございます。

26ページをお願いいたします。

このページは平成30年度の事業予定キャッシュ・フロー計算書となっております。貸借対照表や損益計算書からでは年度内の資金がどこから調達され何に使われたのか直接把握しづらく、企業がどのように資金を調達し何に使用したかを示す、いわば1年度期間の企業の資金繰りをあらわす財務諸表となっております。右下の6資金期末残高1億8,939万7,000円が23ページの予定貸借対照表の2流動資産(1)現金預金と一致するものでございます。

27、28ページは30年度の注記表となっております。有形固定資産の減価償却の方法や引当金の計上方法等を記載しております。

29ページをお願いいたします。

実施計画明細書です。

この29ページと次の30ページは収入の明細となっております。

款1病院事業収益、項1医業収益、目1入院収益は12億8,115万円で、前年に比べて1億3,111万7,000円、11.4%の増、地域医療構想を鑑み、現病院の一般病棟90床、療養病棟60床、計150床から、新病院では30床減の一般病棟90床、障害者病棟30床の計120床に病床転換し、病床過剰状態に対応いたします。説明欄記載のとおり、一般病棟90床のうち、一般病床では1日平均62人、1人1日平均単価3万7,000円、地域包括ケア病床では1日平均10人、1人1日平均診療収入3万2,000円、また障害者病棟では1日平均28人、診療収入で1人1日平均診療収入3万2,000円を見込んでおります。

次に、目2外来収益は5億4,508万円を計上しております。診療科の減少、院外処方への移行により、前年度より1億4,246万4,000円、20.7%の減、1日平均191人、1人1日平均診療収入1万1,696円、前年に比べ2,904円減を見込んでおります。

目3 その他医業収益といたしまして7,355万円、前年度より2,031万7,000円、38.2%の増、内訳といたしまして、節区分1 室料差額収益3,909万1,000円、以下それぞれの金額を計上しております。室料差額収益につきましては、前年度より1,409万4,000円増としております。新病院での病室構成は、バス、トイレ、ミニキッチンつきの特室が2室、トイレつきの個室が12室、トイレなしの個室が6室、4人床の病室が25室となります。新病院から、特室、個室の室料単価の変更を予定しております。

30ページをお願いいたします。

款1 病院事業収益、項2 医業外収益、目2 他会計補助金1億9,001万円、目3 負担金及び交付金8,262万7,000円につきましては、一般会計からの繰入金です。

目4 患者外給食収益は、職員給食料で75万7,000円を計上しております。

目5 長期前受金戻入は、補助金等を受けて建設改良事業を行った場合、補助金等は繰延収益に整理され、その事業により取得した固定資産の減価償却に伴い減価償却見合い分を収益化する取り扱いとなっており、長期前受金戻入として計上するものです。また、建設改良費に充てた企業債に係る元金償還金に対する繰入金につきましても、資金を受け入れる時点は異なるものの、その趣旨は固定資産取得に係る補助金に準じたものと考えられますので、原則として長期前受金に整理し減価償却に伴い収益化することとなっております。今年度は2,502万2,000円を計上しております。

目6 その他医業外収益は、フィルムコピー代、病院実習謝礼、洗濯料などで652万2,000円を計上してございます。

目7 資本費繰入収益は、建設改良費に充てた企業債等に係る元金償還金に対する繰入金について元金償還金に対する繰入額と減価償却額との差額が重要でない場合には全額その年度に収益として計上することができることから、その部分について738万7,000円を計上しております。

款1 病院事業収益、項3 特別利益、目1 過年度損益修正益3,185万4,000円につきましては、固定資産除却に伴う長期前受金戻入等の経理処理によるものであります。

31ページをお願いいたします。

このページから36ページまでが支出の明細を記載しております。

目1 給与費についてですが、13億7,526万2,000円、前年度に比べ1億3,008万8,000円の増、医師8名、看護師67名、准看護師6名、医療技術員36名、事務員12名、計129名分の給料と手当を計上しております。32ページをお願いします。節区分12 賞与引当金繰入額6,361万7,000円ですが、当事業年度の負担に属する支給対象期間相当分を賞与引当金として計上しております。当期の負担に属する金額を賞与引当金へ繰り入れをするものです。節区分13 賃金は、眼科、循環器内科、糖尿病内科等の診療応援や当直応援医師に対する賃金、看護補助者、受付などの臨時職員の賃金となっております。節区分14 法定福利費は2億7,466万5,000円を計上しております。節区分15 法定福利費引当金繰入額については、節区分12 賞与引当金繰入額と同様、実際に賞与を支給したときに発生する社会保険料等の法定福利費について引当金を計上してお

ります。30年度は1,257万7,000円を計上しております。節区分16退職給付引当金繰入額につきましては1,589万4,000円を計上しております。退職給付引当金につきましては、将来的な退職金の支払いに備えて、年度末での負債額を計上するもので、年度末時点で仮に在職職員が退職した場合の退職給付金を算定し、さらに退職手当事務組合での積立不足額が生じる場合は、その分を上乗せして金額を引き当てることとなっております。

33ページをお願いいたします。

目2の経費についてですが、3億6,823万9,000円、前年度に比べ2,424万7,000円、6.2%の減となっております。節区分1厚生福利費は79万6,000円、うち職員の予防接種費用を新たに計上しております。節区分6消耗備品費につきましては、前年度に新病院建設事業における備品購入費で、固定資産計上ができないような1品当たり税抜き10万円未満の什器備品等の購入費を5,000万円計上していたことから、前年比較で5,000万円減の200万円を計上しております。節区分7光熱水費は5,631万9,000円、前年度に比べ2,709万6,000円、92.7%の増となっております。水道料につきましては、現病院では手術室以外は敷地内の井戸水を使用しておりますが、新病院では全て水道水を使用することになります。電気料につきましては、現病院の冷暖房はクーラーによる全館冷房、ボイラーによる全館暖房により賄っておりますが、これが全てエアコンになること、このほか外気を導入する際に冷却、加熱、除湿、加湿を行う外気処理空調機を新病院の病棟に新規に設置することなどから、全体で5,631万9,000円を計上しております。節区分11修繕費は1,000万円で、前年度に比べ900万円、47.4%減となっております。34ページをお願いいたします。節区分13賃借料は2,865万4,000円、前年に比べ134万8,000円の増となっております。白衣リース料につきましては、新病院移転を機に、医療スタッフ全ての白衣、ユニホームを新たにすることとしております。現在の白衣につきましては、長年リース期間を延長してきたことから、通常のリース料と比べかなりの低価格でリースされております。前年より483万9,000円増の年間729万6,000円を計上しております。医師住宅につきましては、新病院から敷地内に新たな職員住宅に入居できることから、現在病院が民間でお借りしている常勤医師、研修医用住宅を解約いたします。このことから、住宅賃借料は238万8,000円減の194万4,000円となります。次に、カーテン賃借料についてですが、カーテンリースは新年度より5年リースで、年間204万8,000円を計上しております。現病院のカーテンは自前のもので、購入したほうが一時的には費用を抑えることができますが、余分に在庫を保有し定期的な洗濯や一部取りかえ時の作業を行わなければ、来院される方々に対し常に清潔な環境を提供することができません。このような管理業務の効率性を考慮した上で、新病院ではリースに切りかえることとしております。節区分15委託料は2億2,271万1,000円、前年度より825万1,000円増となっております。主な内訳としまして、契約内容の変更等により、医事業務委託で427万7,000円増、医師事務作業補助者派遣で326万8,000円増としております。新規要求分としまして、現病院施設内に残る医療機器、什器備品などの撤去費用として734万円を計上しております。次の透析排水処理装置保守につきましては、新病院で新たに導入した処理装置です。保守に関しましては特殊な技術を要するもので、年間226万8,000円の保守委託料を計上させていた

だいております。

35ページをお願いいたします。

目3 研究研修費は、研修講師への謝礼、その他学会出席等の研修旅費並びに看護師研修費用等で、昨年と同額を計上させていただいております。

目4 材料費2億9,727万7,000円は、前年度より1億4,557万3,000円、約32.9%の減となっております。院外薬局への移行に伴う薬品費の減額によるものです。

目5 減価償却費ですが、7,433万3,000円、前年に比べ3,166万4,000円、29.9%の減となっております。

目6 資産減耗費では300万円を計上しております。

36ページをお願いいたします。

項2 医業外費用ですが、目1の支払利息及び企業債取扱諸費が2,446万6,000円で、前年度に比べ641万6,000円、35.5%の増となっております。

目3 長期前払消費税償却は5,400万円を計上しております。前年度に新病院建設事業において発生した多額の固定資産に係る控除対象外消費税について長期前払消費税勘定に計上し、その後5年間で均等償却を行うこととしております。

項3 特別損失は3億4,563万8,000円で、前年に比べ3億663万8,000円の増となっております。

2月、3月分の保険請求分の査定返戻分800万円に加え、新病院移転に伴う現病院の固定資産、建物、構築物、機械備品等について除却処分を行うことから、固定資産除却費として3億3,763万8,000円を計上しております。

37ページをお願いいたします。

資本的収入及び支出ですが、収入、項1 企業債、目1 企業債は3,000万円を計上しております。

項2 負担金は、過疎債分並びに一般会計からの繰入基準による建設改良費企業債償還分で3,657万2,000円を計上しております。

38ページをお願いいたします。

支出でございますが、項1 建設改良費として6,789万7,000円を計上しております。

目1 建設改良費では6,500万円を計上しており、前年度より5,500万円の増となっております。節区分1 工事請負費500万円は、病院施設維持補修に充てるものです。また、節区分2 備品費6,000万円は、前年に比べ5,500万円の増となっております。備品費6,000万円のうち5,000万円につきましては、昨年9月議会、補正（第1号）で御了承いただきましたリハビリテーション関連機器購入費用5,000万円に引き続き、新年度におきましても新たな機器購入費として5,000万円を計上させていただいております。補正予算によりましてディスプレイ搭載型トレッドミル及びデータ統合型動作解析システムを導入しましたが、今回はそれらの機器を使用したときに生理学的データを取得するための機器購入を予定しております。主なものとしまして、被験者にマスクをつけ運動中の呼気を測定する呼気ガス分析装置を予定しており、据置型と携帯型を予定しております。また、被験者の筋肉の動きを電気信号で測定する筋電計や連続

血圧計、心拍出量計、浸透圧計等の計測装置を予定しております。それらの機器の周辺機器としてパソコンやデータ記録装置を合わせて整備し、運動実験中のデータを確実に測定できる環境整備を進めます。備品費の残り1,000万円につきましては、平成29年度で新病院事業の医療機器購入を行ったことから、30年度では基本的に新規購入は予定しておりませんが、移設した既存の医療機器の故障等でやむなく更新することになるものについての購入費として計上させていただきます。

目2リース資産購入費289万7,000円は、企業会計システム、栄養管理システムに伴うリース料を計上しております。

39ページをお願いいたします。

項2企業債償還金2,158万8,000円は、前年度に比べ537万円の増となっております。

項3看護師等貸付金280万円は、看護師、月額5万円、年60万円の3名分、理学療法士、年50万円の2名分を予定しております。

町立温泉病院の関係は以上でございます。どうぞよろしくをお願いいたします。

○議長（中岩和子君） 休憩します。再開11時。

~~~~~ ○ ~~~~~

10時41分 休憩

10時59分 再開

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（中岩和子君） 再開します。

質疑を行います。

質疑はございませんか。

3番下崎君。

○3番（下崎弘通君） 済いません、ちょっとお尋ねします。

この1ページで、病床数ですけれども、120床の内訳の中で、一般病棟90床、障害者病棟30床、これはいつこういうふうに決められたのかどうか、その点これまで委員会の中でも聞いてないような気がしますので、聞いてたらあれなんですけれども、その点の関係お願いします。

それともう一つなんですけれども、リハビリのほうの関係で、29年5,000万円、30年で5,000万円の約1億円かけてリハビリの機器を新しく購入しますけれども、この利用方法、どういうふうにご利用していくのか。入院患者だけなのか、それとも広く外来の人、リハビリに来る人も受けてやるのか、そういうような点、ちょっと2点お願いします。

○議長（中岩和子君） 病院事務長下君。

○病院事務長（下 康之君） お答えいたします。

新病院の病床数につきましては、御説明しましたとおり、現在の150から120床にするということで病棟の編成等も変わってきておりますが、申しわけないですが、私は昨年4月から病院事務長になりまして、その時点ではもうこの方向でなっておりましたので、特にどの時点で決まったとか、あるいは委員会の報告のぐあい、それ申しわけないですが、ちょっと把握してご

ございません。申しわけございません。

それと、リハビリの機器につきまして、今回また5,000万円の備品費お願いしておりますが、そちらの活用方法につきましては、リハビリテーション・スポーツ・温泉医学研究所内での研究目的が主となるんですけども、田島先生等の話によりまして入院患者のリハビリにも役立てていきたいということで、特に竣工式でもごらんいただけたと思いますけど、ディスプレイつきのトレッドミルにつきましてはかなり楽しくと言ったらおかしいんですけど、そういう楽しみながらリハビリもできるということで、主にはもう入院患者になってくるかと思えます。外来のリハビリというのは今できてない状態ですので、入院患者のリハビリに役立てていきたいということであります。今回お願いする機器につきましては、恐らくは研究目的がメインになってくるかと思っております。

以上でございます。

○議長（中岩和子君） 3番下崎君。

○3番（下崎弘通君） 今、事務長が異動した時点でもう決まったということなんですけども、その以前からこの30床というのは全然何も報告がなかったと思うんです。それまでの話の中では、前にできる障害施設の関係の中で、その入院治療とか、そういう関係で1割程度の病床数を確保する可能性があるというような話は聞いたことがあったんですけども、1割というと12床ぐらいですよ。それが30床になってるんで、この点ちょっと報告がなかったなと思っております。

それと、この病床数、障害者の30床、収益のほうで見ますと、28床ですか、利用して、この29ページですけど、30床のうち、患者予定数は1万220人で、1日平均28人と。これがそれだけの28人確保して、そして今の体制、看護師、これ今度採用するの13人とか、いろいろふやすとしてますけども、そうした中で対応していけるのかどうか、その点確認したいと思えます。

それから、リハビリの施設の1億円、研究目的だけでその機械を使われたら、研究も兼ねて、患者を多く診てもらわんと収益上がりませんので。ですから、入院患者だけじゃなしに、そういう入院、スポーツ選手とか、いろんな面で入院されたら診れるんかもしれませんけども、そういう利用方法を広く考えていくほうが今後の経営にとって有効というか、そういうことも考えられるんですけど、どうでしょうか。

○議長（中岩和子君） 病院事務長下君。

○病院事務長（下 康之君） お答えいたします。

まず、障害者病棟の30床であります。今回は28人の入所ということで予算立てしております。この周辺だけで障害者病棟なかなか埋まるということは難しいのかなとは考えておりました。これにつきましては、他府県からの入院も含めて、広くPRしながら埋めていきたいと考えております。そういった部分につきましては、和医大の田島先生も協力していただいております。各方面でPRしていただいております。那智勝浦町立温泉病院のリハビリテーションのほうの評価も全国的に上がっておりますので、リハビリをしながら脊椎損傷等、そういっ



た方がリハビリをしながら復帰できるような施設を目指していきたいと考えております。

そして、看護師の関係につきましては、実は看護師は現在でもこの120床全部を賄うだけの数がそろっておりません。この4月にも十数名入りますが、それでも足りないような状態です。その分につきましては、一般病棟のほうがすぐには満床では対応できないと考えております。障害者病棟のほうは満床対応でいけるように配置を考えております。

それと、リハビリの機器であります。補正予算でお願いした5,000万円の機器につきましてはリハビリの入院患者さん等とも利用できると思いますが、今回お願いする計測機器等につきましては、主には研究目的になってくるかと思えます。私どもとしましては、今回の1億円の投資につきましては、継続的に研究所を設置していただいて、その中で医師の確保につなげていくという目的もございまして、そういった意味で1億円を、今回は5,000万円をお願いしているところでございます。

以上でございます。

○議長（中岩和子君） 3番下崎君。

○3番（下崎弘通君） 人件費がふえると収入のほうを確保せんと、ますます赤字がふえていくということで、この損益計算書ですか、これを見せてもらっても、15ページですけど、当年度未処理欠損金で6億3,697万2,000円と、こういうふうに29年度で出てきておるといことなことで、今後広く内外にPRして、リハビリのそういう、言ったら最新の機器もそろってることで、そういう面とか、いろんな面でその利用方法を皆さんに周知していただいて、病院経営がうまくいくように頑張っていたいただきたいと思うんですが。

○議長（中岩和子君） 病院事務長下君。

○病院事務長（下 康之君） お答えいたします。

今回の新病院の特色の一つが障害者病棟かと思えます。こういった施設につきましては、全国的にはまだ少ないという状況がありまして、かなり現状でも、聞く範囲ですが、注目していただいているということでありますので、そういった部分での入院患者の確保に努めていきたいと思っております。そして、収益の上がる病院にしていきたいと考えております。ありがとうございます。

以上でございます。

○議長（中岩和子君） ほかに質疑はございませんか。

1番荒尾君。

○1番（荒尾典男君） 前もちょっと予算のときに言わせてもらったんですけど、前は病院長違ったんですけど、今度は新病院になるので、これちょっと変わってるかわかんけど、大体予算18億9,000万円とか、去年も18億9,000万円とか出してるんです。実際決算出てきたら17億円ぐらい、医業収益、これ4ページですね、4ページの収入のところで、予定額、医業収益18億9,978万円出てるんです。去年も18億9,081万円出て、決算で出たのは17億円ぐらい。2億円ぐらい狂ってくるんです。それを前回は、できれば決算を踏まえて予算立てたらどうですかって、予算化したらどうですかっていうの言わせてもうて、来年度からそのようにしますってこ

とだったんですけど、ことしもちょっとあれで変わってないような形なんで、それ1点と。現実の数字を見ていかなあかんって思うんですけど。

あと、それと今先ほど言っていたスポーツ・温泉医学研究所の分に関しては、本来ならば県の分院なんですよ。県立医大の分院として運営してるということもありますから、ひょっとしたら県のほうに、田島先生ともお話しして、補助金なんかお願いできることがあったらすればいいんじゃないかと思うんです。全部が全部この那智勝浦町でふだん3,000万円のお金を出して運営して行って、たとえそれが勝浦のためやってもやっぱり県のほうもその研究所に使う機器であったら出してもらえないかっていう相談もしてみたらどうかなと思うんですけど、そこら辺と、2点お願いします。

○議長（中岩和子君） 病院事務長下君。

○病院事務長（下 康之君） お答えいたします。

収益に関する部分でございますが、今回は新病院ということで病棟の編成も大きく変わるということで、このような予算立てをさせていただいております。これにつきましては、病院のほうの新病院の改革プラン等も踏まえた上での予算措置でございます。できるだけこのような、入院の単価も含めてこの形で今後やっていきたいということで、このように定めさせていただいております。

それと、研究所のほうの機器の関係であります。県立医大のほうでの予算化はなかなか難しかったというような経過があるようでして、田島先生のほうから町長のほうに申し出があったという経過がございますので、これを県のほうにまた何らかの補助をいただくというのは難しいのかなとは思っております。

そして、ちょっと先ほど説明漏れておったんですが、今回お願いする機器、主に計測機器につきましては、10年前に研究所が開設したときに導入したものの、その更新のものが今10年たつてかなり古くなっているということで測定の精度も下がってきているということで、更新の機器が多いということになってございます。

以上でございます。

○議長（中岩和子君） 1番荒尾君。

○1番（荒尾典男君） いや、決算を反映するような形というのは、今回はいいんです。でも、来年度は新病院になってちょっと変わってくる、数字出てくるかわからんけど、今ちょうど移行期でわかりませんが、決算からの予算への反映の数字っていうのは今後取り入れていってほしいなっていうのは、それをお願いしてるんですわ。

そして、あとは難しいのはわかってるんです。県立医大に言うのは。県立医大はお金を出してくれないっていうのはもう聞いてますから。ただ、そうじゃなくて、自分らでやる仕事も一回やってみたら、県のほうに。無理でもともとですから。医務課のほうに、こういうふうな状況でありますけど。私どもも大変なんですということで、そういうふうな形で、本来ならば県立医大から県のほうにお願いしていろいろしたらええけど、県立医大のほうも年度によつたら80億年ぐらいもうてますから、県のほうからの補助金が。物すごいもうてるんですよ。自治

体のほうには回ってきてないんで、自治体病院が全部それを出すっていうのもおかしな話なんで、県が県立医大に出してる金額があって、それでこっちにはもらえないけど、この自治体が直接全部やっていますから、ふだんの県の医療費ももろてないような状況なんで、プラスしてそんなものをまた何でもかんでも聞きますっていう形じゃなくて、だめでもともとやから一回頼んでみたらどうですかって、探してみてもいいですよ、いろいろと考えてみたらどうですかっていうのをお願いしてるんですが、どうですか。

○議長（中岩和子君） 病院事務長下君。

○病院事務長（下 康之君） お答えいたします。

予算につきましては、決算の数字を参考にしていくというのは一つの基本でもあるかと思えます。今回は病棟編成も大きく変わるといってもあっての予算立てであります。今後30年度の決算ぐあい等も見ながら、31年度以降の予算立てに参考にしていきたいと考えております。

そして、リハビリ機器等、県の補助に関しましては、一度ちょっと問い合わせしてみたいと思います。よろしく申し上げます。

○議長（中岩和子君） ほかに質疑はございませんか。

7 番曾根君。

○7 番（曾根和仁君） 済いません、1 点だけ質問します。

看護師の確保なんですけども、委員会でも常々確保に力を注いでいるということだったんですが、この新病院の4月1日の開院に合わせて、見込みも含めてこの13人ふやすというのと、大体どれぐらい達成できてるか、それだけ教えてください。

○議長（中岩和子君） 病院事務長下君。

○病院事務長（下 康之君） お答えいたします。

看護師の確保につきましては、特に病院内に看護師確保のプロジェクトチームというのをつくりまして、毎月病院の見学会を昨年2月から開催し、募集等を続けてきた結果、この13名というのはこの3月卒業見込みの方を含めて実数となっております。これだけの、その方々が国家試験さえ受ければ、この数字が増になってまいります。もし受からなければ、その分減になります。看護師確保プロジェクトの動きが功を奏しまして、確保ができてございます。まだまだ看護師については足りないという状況でありますので、今後もこの活動を続けていきまして、31年度におきましても看護師の確保に努めてまいりたいと思います。

以上でございます。

○議長（中岩和子君） ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中岩和子君） 質疑を終結することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中岩和子君） 異議なしと認め、質疑を終結します。

討論を行います。

討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中岩和子君） 討論を終結することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中岩和子君） 異議なしと認め、討論を終結します。

採決を行います。

議案第16号について原案のとおり可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中岩和子君） 異議なしと認め、本件は原案のとおり可決されました。

以上で本日の日程は全部終了しました。

本日はこれで散会します。

~~~~~ ○ ~~~~~

11時20分 散会